

なるほどのう



学校教育担当
キャラクター
甲斐善之助

西部教育局からのお役立ち情報 今月のトピック紹介版

3月号

児童生徒に確実な学力向上を実現する、校内研究実践例！！

校内研究に対する意識は年々高まり、本年度も学力向上策の中心に位置づけた取組が各校で進められました。学校訪問では、個別の先生による発信のみならず、学校全体で指導案の作成方針を統一化して授業改善につなげる等、チーム学校としての取組が着実に進められた学校も多く見られました。本号では、各学校の取組を振り返り、今後の取組のポイントを示しています。次年度の研究推進体制づくりにお役立てください。

特別の教科 道徳(道徳科)の充実を図る！！！！ ～全面実施に向けた準備～

小学校は平成29年度が移行期間の最終年度、中学校は残り2年間となり、道徳科の全面実施が目前に迫っています。スケジュールから見える各種計画の見直しの視点、教材の選定等についての情報をまとめていますので、道徳教育推進教師を中心とした各学校における体制整備にお役立てください。

「魅力ある学校づくり」で攻めの生徒指導を！！！！ ～4月・魅力ある学級開き&魅力ある授業開きのポイント～

未然防止の取組を進め、子供にとって学校を魅力ある場所とすることが問題行動を生まない学校づくりにつながります。本号では、新年度の学級開き、授業開きを取り上げ、全ての子供が意欲的に取り組める体制づくりや環境づくりについて考えています。新年度に向けた共通理解の場でご活用ください。

児童生徒に確実な学力向上を実現する、校内研究実践例！！

今年度の学校教育実施状況調査へのご協力ありがとうございました。調査結果を分析したところ、全ての学校で校内研究を軸とした取組が重点的に進められたことが分かりました。ここ数年で研究への意識は確実に高まっています。また「指導案の内容が充実した」「研究主任の先生が、校内研究に自信をもって取り組んでいる」といった声も聞かれます。本号では、多くの成果が生まれた本年度の取組を振り返るとともに、各校の実践事例を紹介し

今年度の成果と今後大切にしたいポイント

①校内研究の充実を図った学校が100%

今後もエビデンスを基にした研究推進を

事後研究を大切にす
る学校が増えています。
PDCAのCAの充実によ
って、確実な授業改
善が実現しています。



どの学級でも、どの学
年でも、どの教科でも、
徹底した共通実践が行
われることで、学力向上
が実現しています。

【成果指標設定のポイント】

◇児童生徒アンケート、診断テスト、
学力調査等による変容の確認

②確実に力を付けるための支援に関する研究

今後も教師の見取りと適切な支援の充実を

自力解決時の支援
は、教科の特質をと
らえて具体的に示す
ことが大切です。



子供がどのような様相からス
タートしているのかを見取り、S1の
状況からS2、S3の状況へと確実にス
テップアップできるような、子供にとっ
てわかりやすい支援の言葉が有効です。

<具体的な児童の解決の様相>

- S1 長方形や三角形に変形すればよい
ことは理解しているが、どこに補助線
を引けばよいかわからない。
- ↓
- S2 長方形や三角形に変形して立式し
面積を導き出している。
- ↓
- S3

(補助線入りのカードを基に)
どの分け方が考えやす
いか考え計算してみよう。

図の、どこが「たて」「横」
「底辺」「高さ」になるの
か書いてみよう。

【米子市立五千石小学校】

③主体的、対話的で深い学びについての研究

学習者の目的意識や到達するゴールを大切にしたい学びを

「脱！活動あって学び無し！対話的な学びの場面で大切にしたい指導」

◇班やグループでの話し合いで・・・
→「意見を拡散的に出す話し合いなのか、
一つにまとめる話し合いなのか」等、
**話し合いの目的を子供に明確に
示しましょう。**



◇グループ内で作品等を相互評価・・・
→**全体で評価の観点を確認してから活動に
入ります。**「スピーチ原稿の相互点検で大
切にしたい点は何点ありますか？」と問うこ
とで、その観点を共有することもできます。

各校で取り組まれた校内研究のアイデアから

授業研での学びを事後の実践につなげる。(小学校)

- ◇通信やリーフレット形式で協議及び指導助言の要点を簡潔にまとめ共有する。
◇全ての教員が事後研究会後にまとめと個人による振り返りを行う。
◇授業研が終わったら、同じ学年で改善指導案を基に再度授業を行う。

教科の壁を超える校内授業研究を進める。(中学校)

- ◇各教科共通の授業改善の視点を設定し、教科別の授業スタンダードを作成し実践する。

(共通)子供目線の焦点化した課題提示→(理科)課題を見出す事物・現象の提示



次年度も校内研究を軸に学力向上を目指していきましょう！

移行期間の準備は進んでいますか？

「特別の教科 道徳」(道徳科)の充実を図る!!! ~全面実施に向けた準備~

小学校は平成29年度が移行期間の最終年度、中学校の準備期間は残り2年間と、道徳科の全面実施が目前に迫っています。移行期間中に整えておくべき計画や取り組み等についてまとめていますので、円滑な実施に向けた準備にお役立て下さい。

①②③についての詳細を次ページに示しています。



《道徳科の全面実施に向けたスケジュール》

		28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)	32年度 (2020)	33年度 (2021)	
小学校	<p>移行期間 新学習指導要領の総則、「特別の教科 道徳」の趣旨・内容を踏まえた取組が可能</p>	<p>移行期間 新学習指導要領の総則、「特別の教科 道徳」の趣旨・内容を踏まえた取組が可能</p>		<p>全面実施 「特別の教科 道徳」による教育課程編成等</p>				
		<p>① 各種計画の見直し・整備</p> <p>② 教材選定・開発・蓄積</p> <p>③ 学習評価の共通理解・確認</p>	<p>① 各種計画の見直し・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体計画 年間指導計画 別業 各時間の指導の概要が分かるもの 等 			<p>② 教材選定・開発・蓄積</p> <ul style="list-style-type: none"> 検定教科書についての情報収集 地域教材、「私たちの道徳」の扱い 変更のあった内容項目の実践の蓄積 等 		
中学校	<p>移行期間 新学習指導要領の総則、「特別の教科 道徳」の趣旨・内容を踏まえた取組が可能</p>	<p>移行期間 新学習指導要領の総則、「特別の教科 道徳」の趣旨・内容を踏まえた取組が可能</p>		<p>全面実施 「特別の教科 道徳」による教育課程編成等</p>				
		<p>① 各種計画の見直し・整備</p> <p>② 教材選定・開発・蓄積</p> <p>③ 学習評価の共通理解・確認</p>	<p>① 各種計画の見直し・整備</p> <p>② 教材選定・開発・蓄積</p> <p>③ 学習評価の共通理解・確認</p>			<p>③ 学習評価の共通理解・確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 実践の共有、学校全体で取り組むことの確認 等 		
教科書	小	検定	採択・供給	検定教科書使用開始				
	中		検定	採択・供給	検定教科書使用開始			
学習指導要領 全体改訂	中教審答申	《二十八年度内》 小中学校学習指導要領改訂告示	教科書編修趣意書の公開 【4月下旬】	教科書展示会 【6月9日 〜7月6日】	教科書編修趣意書の公開	教科書展示会	(小)全面実施	(中)全面実施

道徳教育に係る評価等の在り方に
関する専門家会議報告

① 各種計画の見直し・整備

◆道徳教育全体計画

- 改訂された道徳教育の目標を踏まえ、学校・地域の実態をもとに学校の重点目標を設定する。
- 家庭や地域社会との連携の方法を示す。

◆年間指導計画

◆指導過程等を含むものなど、各時間の指導の概要が分かるもの

◆道徳教育全体計画の別業

- 各教科等、体験活動等の他の教育活動との関連を考慮し、指導の効果が高められる時期や内容を位置付ける。



特に、新たに加えられた内容項目(追記)や他の内容項目に含められたり他の内容項目と合わさったりした内容項目(統合)、分かれた内容項目(分化)についての検討が必要です。

- 校長や教頭等の参加、保護者・地域の人々の参加・協力、複数時間の関連を図る等、創意工夫する。



保護者の方の願いや思いを把握するための保護者アンケートの実施や、地域の方に積極的に授業を参観してもらえるような手立てを考える必要がありますね・・・。

【小学校】追記された内容項目

- *第1、2学年：A-(4)[個性の伸長]
C-(11)[公正、公平、社会正義]
(16)[国際理解、国際親善]
- *第3、4学年：B-(10)[相互理解、寛容]
C-(12)[公正、公平、社会正義]
- ※4-(5)(6)は、C-(16)(17)に統合・分化
- *第5、6学年：D-(22)[よりよく生きる喜び]

【中学校】統合・分化された内容項目

- *2-(2)(6)は、B-(6)[思いやり、感謝]に統合
- *2-(3)(4)は、B-(8)[友情、信頼]に統合
- *4-(4)(7)は、C-(15)[よりよい学校生活、集団生活の充実]に統合
- *4-(5)は、C-(12)[社会参画、公共の精神]と(13)[勤労]に分化
- *3-(2)は、D-(20)[自然愛護]と(21)[感動、畏敬の念]に分化

② 教材選定・開発・蓄積

◆検定教科書についての情報収集

- 教科書展示会に出かけて、実際に手に取って見てみる。
- 教科書編修趣意書から、内容についての理解を図る。

◆検定教科書以外の教材の扱いについての検討

- 地域教材、私たちの道徳 等

◆変更のあった内容項目の実践の蓄積

- 作成した学習指導案や板書計画、資料(掲示物、ワークシート等)、子供が書いた振り返り等を共有し、次年度の参考資料として引き継ぐことができる環境を整備する。

【例】教材室に保管場所を確保する
共有フォルダにデータを保存する

【教科書展示会】

- *各教科書センターで実施
・米子、境港、大山、田野の市立及び町立図書館
- *29年度は、30年度に使用される小学校の道徳科の教科書を展示予定

【教科書編修趣意書】

- *4月下旬、文部科学省HPに掲載予定

※教科書編修趣意書

教科書の編修上特に異を用いた点や特色などを分かりやすく説明することによって編修の趣旨や基本方針を示したもの



検定教科書の給与に伴い、「私たちの道徳」は、小学校は29年度まで、中学校は30年度までの配布となる予定です。(文部科学省HPからのダウンロードは可能)

③ 学習評価の共通理解・確認

◆実践の共有、学校全体で取り組むことの確認

- 各自の実践やアイデアを共有し、学校全体で共通して取り組む方策について協議する。

【例】道徳ノートを活用して子供の変容を見取る
ワークシートをファイルに綴る

学校全体の取組とするためには、**全職員の総意で決定する場の設定や過程**を位置付けることが大切です。



【校内研究会の例】 *実施時期…年度内

①チーム(学年団+担任外等)で協議

→全学年一斉に協議時間を設定することが難しい場合は、「〇日まで」と期限のみを設定し、学年団ごとに設定する。

②全職員で共有・検討

→①で参考になった取組について共有し、学校全体で取組みたいこと・取り組めそうなことを検討する。

③道徳教育推進教師(又は、推進教師を中心とするチーム)と管理職で次年度の取組みを協議

④全職員で確認・決定

→→→次年度の職員会で提案する

「魅力ある学校づくり」で攻めの生徒指導を!!!

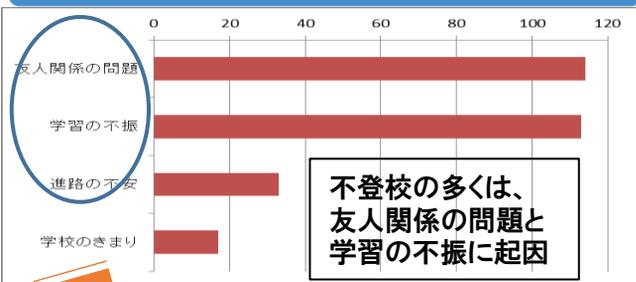
お役立ち情報H29.3月号
西部教育局



～4月・魅力ある学級開き&魅力ある授業開きのポイント～

生徒指導では問題行動が発生したその瞬間からの動きがとても重要です。なぜなら、初期対応(早期発見・早期対応)のあり方が、その先の子供や学級の状況に大きく影響するからです。そして、それ以上に大切な生徒指導が、問題行動等が起きにくい状況をつくること、つまり「魅力ある学校づくり」を日常化し維持し続けていくことだと言えます。4月の学級開き&授業開きを魅力あるものとしてチーム学校で展開し、「魅力ある学校づくり」をスタートしましょう。

【参考資料】不登校の要因(中学校)



学級・授業開きのポイント

新年度は児童生徒にとって特別な時期です。新しい学年、学級、先生、教科書等々、この環境や出会いの中で、新たに頑張ることができる自分になれるような期待が高まる大切なタイミングとなります。この子供の気持ちの高まりを最大限に生かした「魅力ある学級&授業開き」についてチームで協議して実践することが大切です。



【①学級をつくる】

【②授業をつくる】

学級づくりと授業づくりは常に連動しています。よい学級をつくるのが授業を支え、よい授業をつくることをとおして学級は育まれていきます。

学級開きチェックポイント

- 名前を呼ばれた時の子供の声のトーンを意識して聞いていますか？
⇒返事をしない・目を合わせない、うつむいている等の子供の様相は何かを訴えています。よいタイミングで声かけを！
- 子供同士の会話に耳を傾けていますか？
⇒「最悪！何でこのクラス？」等の会話は、子供から先生への「私の気持ちを聞いて欲しい」「助けて欲しい」という意思表示です。叱らず、聞き逃さず、受け止めの会話から！
- 始業式での学校長の話の内容やキーワードを、学年や学級で引用していますか？
⇒学校長の示す方向を学校全体で共有することが一貫性のある有効性の高い指導につながります。学級開きの中でアレンジを！
- 学級開きは1年間完結のドラマの始まりです。子供の心に響く、子供の心が動く、そんな瞬間をつくる担任のメッセージを準備していますか？
⇒新しい学級に満足していない子供が必ずいます。この先生となら、頑張れるかもしれないという期待が子供の中に膨らむようなメッセージを！

授業開きチェックポイント

- 教科書・ノートに記名はありますか？
⇒校種や学年によって伝え方は様々ですが、1年間使用する大切な教科書であることを必ず伝え、記名があることの確認を必ず行いましょう。
- 中学校区(校内)での学習のきまりをわかりやすく示していますか？
⇒学年間や校種間の隔たりは、子供の不安や不信につながります。授業開きまでに研究主任や生徒指導主事・主任で確認をしておきましょう。
- 学校全体で取り組んでいる学習のスタイルについて、子供に伝える準備はできていますか？
⇒各学校で取り組んでいる研究主題に沿った学習の進め方や学習方法について、教師も子供も共通理解する場を設け、内容についてお互いに確認しましょう。
- 評価について伝える準備ができていますか？
⇒学校全体で評価のあり方について確認し、子供の発達段階に合った伝え方を準備しましょう。

問題行動等が発生してからの対症療法は、守りの生徒指導となりがちです。
魅力ある学校づくり(未然防止の取組)で、攻めの生徒指導を充実しましょう。